

「東日本大震災|

【宮城県東松島市】東北地方の太平洋に 県中央部で仙台市の北東に位置。震災前時点で人口約43.000人 世帯数約13,000世帯。大震災により死者などが約1,300人、 が約6,000戸で、市内に約50か所の避難所が設置され、 人が現在も避難生活を余儀なくされています

容をデータとして管理する作業

付けで、

現在は、

受け付けた内

支援金の申請手続きの窓口受け などの支援に基づく被災者への

白石 亨 参事 〔環境衛生課〕

じました。また、支援活動に 可能性を危惧されていました。 回の震災で、震災前の人口から が主となっています。 ればならないのではないかと感 るのではないかと懸念され、 落ちて、行政サービスが低下す 口減の影響で市の財政力などが されるとのことです。 約6,000人の人口減が予想 員と話す機会がありました。 に高めてもらいたいと思います 分のこととして防災意識をさら 行って、 東松島市を考えると、急激な人 「負のスパイラル現象」を招く (間の命の尊さを実感しました) え 今後も、支援活動を続けなけ 震災を通して、皆さんには自 支援活動の中で、 人間の無力さを痛感し、 改めて自然災害の恐ろ 現地の市職 復興後の 今

るように実施している段階です

被災地支援活動の業務は、国

にはすべての避難者が入居でき

宅の建設が進んでいて、

8 月 中

数います。

東松島市では仮設住 現在も、避難所暮らしの方が多 は、言葉が出ない状況でした。 支援の活動と復興の現況

現場で見た被災地の被害状況

宮城県東松島市での被災地

防災特集

東日本大震災から学ぶ 🛽 被災地支援の取り組み

被災地における支援活動の 取り組みを甲佐町に生かす

被災地での支援活動のために、5月から熊本県および県内 市町村での合同による「県チーム」として町職員を宮城県 東松島市に派遣しています。 町では、3月11日(金)に発生した「東日本大震災」の

者支援活動と同市の復興活動に取り組んでいます。 6月までに5人の町職員を順次派遣し、被災地での被災

の支援活動、 5月に派遣された町職員3人が、 そして、 支援活動を通して検討した本町で今 被災の現況と被災地で

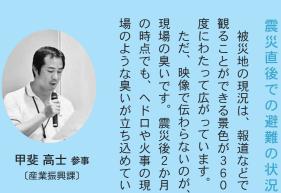
後取り組むべきことについてレポートします。



津波によって、内陸まで流された 船舶の残骸(ざんがい



被災した家屋や建物



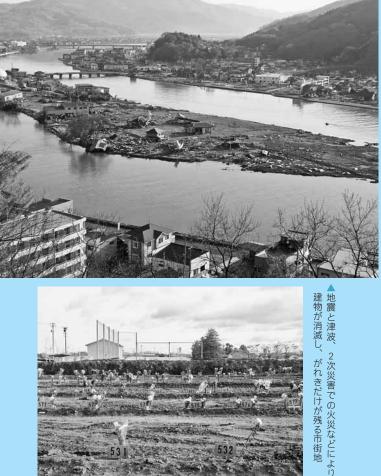
現地の被災による現況と

がんばろう! カ うつのうど ひがしまつしま ひ

れた地点に津波で流された船が のことです。その方が避難され ていない状況でした。 きの撤去はまだ続いており終っ とが大きく残ったままで、がれ ていたりするなど、震災の傷あ あったり、被災した住宅や学校 ました。現地では、 たのは、 避難してない方もいたらしいと んに津波警報が発令されるため 方の話では、東北地方はひんぱ 津波発生時に避難して助かった お話しする機会もありました。 などの施設はがれきの山となっ また、被災者の皆さんと直接 地震直後の家の窓から 海岸から離

対応を検討することが大切では も常に深く検証し、 必要だと感じたことは、今回の に厳しい状況だったようです。 とでした。赤ちゃんたちが、特 れを4人で分けて食べたとのこ やくパンが1枚支給されて、 難所では震災後3日目に、 高台に逃げられたそうです。避 ほどの引き潮になっため、異常 海水が引いて海岸の底が見える 見た海の様子が通常と異なり、 ないかということです。 震災のような予想できない事態 を感じて慌てて避難を決断して、 今後、 防災対策を考える上で 町の対策や よう そ







震災により被災し亡く なられた方の埋葬地

建物が消滅し、がれきだけが残る市街地

建設が進む、被災者 用の仮設住宅。いま だに多くの被災者は、 避難所での生活を余





らに強固にしたいと思います。 たことは、 財産などを守るために、 読していただき、町民の生命や しています。町職員には再度熟 活動マニュアル」を規定し運用 ける対応体制について「町職員 策定し、災害などの非常時にお に的確な活動ができる体制をさ で検討する本町での対策 町では防災に関する対策とし 震災を受けて再認識させられ 「町地域防災計画」などを 自主防災組織の重要 非常時



上古閑 一徳 係長 〔くらし安全推進室〕



災の例では、 ども非常時には活動をしますが 非常時に備えたいと思います。 の下で、さらに結成を促進して 重要となるのでぜひ結成してほ の皆さんの自主的な活動です。 の下敷きになった人の8割をが とができます。阪神・淡路大震 携して被害を最小限に抑えるこ ることで、お互いが有機的に連 は自分たちで守る」という意識 いますが、 れきの中から助けたのは、 地域の皆さんが共同して活動す 活動が改めて必要だと考えます。 まる中、地域での連携の取れた により地域での生活の不安は高 いと思います。 町内は10集落ほど結成されて 町をはじめとして、国や県な 大規模災害時は特に 被災して家屋など 「自分の地域 地域